

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第3区分  
 【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2000-82071(P2000-82071A)  
 【公開日】平成12年3月21日(2000.3.21)  
 【出願番号】特願平10-267349  
 【国際特許分類第7版】

G 0 6 F 17/30

G 0 6 T 1/00

【F I】

G 0 6 F 15/40 3 7 0 B

G 0 6 F 15/401 3 1 0 C

G 0 6 F 15/62 P

G 0 6 F 15/62 3 3 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月5日(2005.9.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ファイルを管理するファイル管理装置であって、各ファイルの情報と当該各ファイルのインデックス情報とを行列状のリストで表示するリスト表示制御手段と、

複数のインデックス情報を複写する複写手段と、

前記複写手段で複写した複数のインデックス情報を、前記行列上のリストにおいて貼り付ける貼り付け手段とを備えることを特徴とするファイル管理装置。

【請求項2】 前記表示されるリスト上において、ファイルのインデックス情報を入力及び編集するインデックス情報入力編集手段と、

前記インデックス情報に基づいて、前記リスト上でファイル検索する検索手段とを更に備えることを特徴とする請求項1記載のファイル管理装置。

【請求項3】 前記複写手段は、他のアプリケーションにおける行列状のデータ、或いは前記行列状のリストにおける所望の範囲のインデックス情報を複写することを特徴とする請求項1記載のファイル管理装置。

【請求項4】 前記貼り付け手段は、前記リストにおける複数のファイルの複数のインデックス情報に対して、一括して貼り付け処理を行うことを特徴とする請求項1記載のファイル管理装置。

【請求項5】 前記貼り付け先のフィールドタイプに前記貼り付けるインデックス情報が適合しているか否かを判別する判別手段を更に備えることを特徴とする請求項1記載のファイル管理装置。

【請求項6】 前記貼り付け手段では、前記貼付け先に既存のインデックス情報があるレコードに対しては当該既存のインデックス情報を前記複写したインデックス情報で更新し、前記貼り付け先にインデックス情報がなく且つ前記ファイルの情報が関連付けられているレコードに対しては当該レコードのインデックス情報として前記複写したインデックス情報を追加し、それ以外の場合は前記複写したインデックス情報を関連付けた新規レコードを作成することを特徴とする請求項1記載のファイル管理装置。

【請求項7】 前記貼り付け手段で、前記リストにおいて既存のインデックス情報を

有するレコードが更新された場合には、当該レコードを識別可能な識別情報を付加する識別情報付加手段を更に備えることを特徴とする請求項 1 記載のファイル管理装置。

【請求項 8】 複数のファイルを管理するファイル管理装置であって、

前記複数のファイルの情報と各ファイルのインデックス情報とを、行列状のリストで表示するリスト表示制御手段と、

前記表示されるリスト上で、前記リストに登録されるファイルのインデックス情報を入力するインデックス情報入力手段と、

前記表示されるリスト上で、前記インデックス情報に基づいてファイル検索する検索手段と、

前記表示されるリスト上で、前記ファイルのインデックス情報を一括して編集するインデックス情報一括編集手段とを備えることを特徴とするファイル管理装置。

【請求項 9】 複数のファイルを管理するファイル管理装置を制御するためのファイル管理方法であって、

各ファイルの情報と当該各ファイルのインデックス情報とを、行列状のリストで表示するリスト表示制御工程と、

複数のインデックス情報を複写する複写工程と、

前記複写工程で複写した複数のインデックス情報を、前記行列上のリストにおいて貼り付ける貼り付け工程とを備えることを特徴とするファイル管理装置を制御するためのファイル管理方法。

【請求項 10】 複数のファイルを管理するファイル管理装置を制御するためのファイル管理方法であって、

前記複数のファイルの情報と各ファイルのインデックス情報とを、行列状のリストで表示するリスト表示制御工程と、

前記表示されるリスト上で、前記リストに登録されるファイルのインデックス情報を入力するインデックス情報入力工程と、

前記表示されるリスト上で、前記インデックス情報に基づいてファイル検索する検索工程と、

前記表示されるリスト上で、前記ファイルのインデックス情報を一括して編集するインデックス情報一括編集工程とを備えることを特徴とするファイル管理装置を制御するためのファイル管理方法。

【請求項 11】 ファイル管理装置内の CPU によって実行されるプログラムが格納された記憶媒体において、

各ファイルの情報と当該各ファイルのインデックス情報とを行列状のリストで表示するリスト表示制御工程と、

複数のインデックス情報を複写する複写工程と、

前記複写工程で複写した複数のインデックス情報を、前記行列上のリストにおいて貼り付ける貼り付け工程との各工程を前記 CPU に実行させるためのコンピュータ読取り可能なプログラムが格納された記憶媒体。

【請求項 12】 ファイル管理装置内の CPU によって実行されるプログラムが格納された記憶媒体であって、

前記複数のファイルの情報と各ファイルのインデックス情報とを、行列状のリストで表示するリスト表示制御工程と、

前記表示されるリスト上で、前記リストに登録されるファイルのインデックス情報を入力するインデックス情報入力工程と、

前記表示されるリスト上で、前記インデックス情報に基づいてファイル検索する検索工程と、

前記表示されるリスト上で、前記ファイルのインデックス情報を一括して編集するインデックス情報一括編集工程との各工程を前記 CPU に実行させるためのコンピュータ読取り可能なプログラムが格納された記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明の請求項1記載のファイル管理装置は、ファイルを管理するファイル管理装置であって、各ファイルの情報と当該各ファイルのインデックス情報とを行列状のリストで表示するリスト表示制御手段と、複数のインデックス情報を複写する複写手段と、前記複写手段で複写した複数のインデックス情報を、前記行列上のリストにおいて貼り付ける貼り付け手段とを備えることを特徴とする。

請求項8記載のファイル管理装置は、複数のファイルを管理するファイル管理装置であって、前記複数のファイルの情報と各ファイルのインデックス情報とを、行列状のリストで表示するリスト表示制御手段と、前記表示されるリスト上で、前記リストに登録されるファイルのインデックス情報を入力するインデックス情報入力手段と、前記表示されるリスト上で、前記インデックス情報に基づいてファイル検索する検索手段と、前記表示されるリスト上で、前記ファイルのインデックス情報を一括して編集するインデックス情報一括編集手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

請求項9記載のファイル管理方法は、複数のファイルを管理するファイル管理装置を制

御するためのファイル管理方法であって、各ファイルの情報と当該各ファイルのインデックス情報とを、行列状のリストで表示するリスト表示制御工程と、複数のインデックス情報を複写する複写工程と、前記複写工程で複写した複数のインデックス情報を、前記行列上のリストにおいて貼り付ける貼り付け工程とを備えることを特徴とする。

請求項 10 記載のファイル管理方法は、複数のファイルを管理するファイル管理装置を制御するためのファイル管理方法であって、前記複数のファイルの情報と各ファイルのインデックス情報とを、行列状のリストで表示するリスト表示制御工程と、前記表示されるリスト上で、前記リストに登録されるファイルのインデックス情報を入力するインデックス情報入力工程と、前記表示されるリスト上で、前記インデックス情報に基づいてファイル検索する検索工程と、前記表示されるリスト上で、前記ファイルのインデックス情報を一括して編集するインデックス情報一括編集工程とを備えることを特徴とする。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

請求項 11 記載の記憶媒体は、ファイル管理装置内の CPU によって実行されるプログラムが格納された記憶媒体において、各ファイルの情報と当該各ファイルのインデックス情報とを行列状のリストで表示するリスト表示制御工程と、複数のインデックス情報を複写する複写工程と、前記複写工程で複写した複数のインデックス情報を、前記行列上のリストにおいて貼り付ける貼り付け工程との各工程を前記 CPU に実行させるためのコンピュータ読取り可能なプログラムが格納されている。

請求項 12 記載の記憶媒体は、ファイル管理装置内の CPU によって実行されるプログラムが格納された記憶媒体であって、前記複数のファイルの情報と各ファイルのインデックス情報とを、行列状のリストで表示するリスト表示制御工程と、前記表示されるリスト上で、前記リストに登録されるファイルのインデックス情報を入力するインデックス情報入力工程と、前記表示されるリスト上で、前記インデックス情報に基づいてファイル検索する検索工程と、前記表示されるリスト上で、前記ファイルのインデックス情報を一括して編集するインデックス情報一括編集工程との各工程を前記 CPU に実行させるためのコンピュータ読取り可能なプログラムが格納されている。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0096

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0096】

【発明の効果】

本発明のファイル管理装置によれば、効率的な文書のインデキシングを行うことにより、高い生産性を実現することができる。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0101

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0101】

このように、検索操作と画像記録操作とインデックス入力操作を統合すると共に、複数文書を一括して扱えるようにすることにより、操作性を高めることができる。尚、本発明のファイル管理方法及び本発明の記憶媒体においても同様の効果を得ることができる。

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0102  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0102】

本発明のファイル管理装置によれば、過去に使用したインデックスデータを再度利用するために文書を検索し、文書リストに表示された検索結果のインデックスデータをこれから入力する文書のインデックスデータとして参照する、あるいは複写するなどといった操作を容易に行うことができる。

【手続補正13】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0103  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0103】

本発明のファイル管理装置によれば、インデックスデータの修正を簡単に行うことができる。

【手続補正14】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0104  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0104】

本発明のファイル管理装置によれば、複数のインデックスに対して、修正を行う必要がある場合、一括して修正操作を行うことができる。

【手続補正15】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0105  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0105】

本発明のファイル管理装置によれば、正しいフィールドタイプのインデックスデータを入力することができる。

【手続補正16】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0106  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0106】

本発明のファイル管理装置によれば、種々のファイルに適用可能である。

【手続補正17】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0107  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0107】

本発明の記憶媒体によれば、ファイル管理装置の拡張性、汎用性を高めることができる。